

2003年3月11日
(株)博報堂 エルダービジネス推進室

HOPEレポート 「50代・60代1600名のお金に関する意識」データ

エルダーの3分の2は「お金の苦労しない」

- 「今の貯蓄や資産運用に不満がある」のは4割。
- 新しい金融サービスには積極的。

博報堂は、常時さまざまな生活者調査を実施しておりますが、このたび、昨年11月末に調査した生活者調査のなかから「50代・60代のお金に関する意識」のデータがまとまりましたので、ご報告申し上げます。

このデータは、首都圏および関西の12～69才の男女合計約5000名に対し、2002年11月末に郵送調査で実施したもののうち、エルダー層を中心に分析したものです。その結果から、昨今のような経済状況下においても、エルダー層（50代・60代）は、それより若い世代に比べて「金銭的ゆとり」が高く、「金融商品に関する経験や知識・関心」など「金融意識が高い」ことが明らかになりました。

調査結果によると、「日常使うお金に苦労しない」とこたえるエルダー（50代・60代）は3分の2にあたる65.5%もいました。また、60代だけに限ると、70%以上（70.8%）が「お金の苦労しない」で生活しています。

また、具体的な金融商品やサービスの利用経験でも、「定額預金（貯金）：74.7%」「株式取引：30.0%」「中期国債ファンド：20.7%」など、代表的な金融商品の経験知識が若年層に比べ豊富で「コンビニやスーパーでの銀行サービス」などについても、若年層に比べて低いものの、昨年とくらべて伸びており、積極的なエルダーの姿が浮かび上がりました。

しかしながら、「今の自分の貯蓄や資産運用に不満がある」「金融機関にいろいろ相談やアドバイスに乗って欲しい」人も4割近くおり、金利や年金、保障についての意識が高いものの、具体的な自分の資産運用については、まだまだ改善の余地があると考えている人が多いことがわかりました。

調査概要

調査時期：2002年11月末

調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸

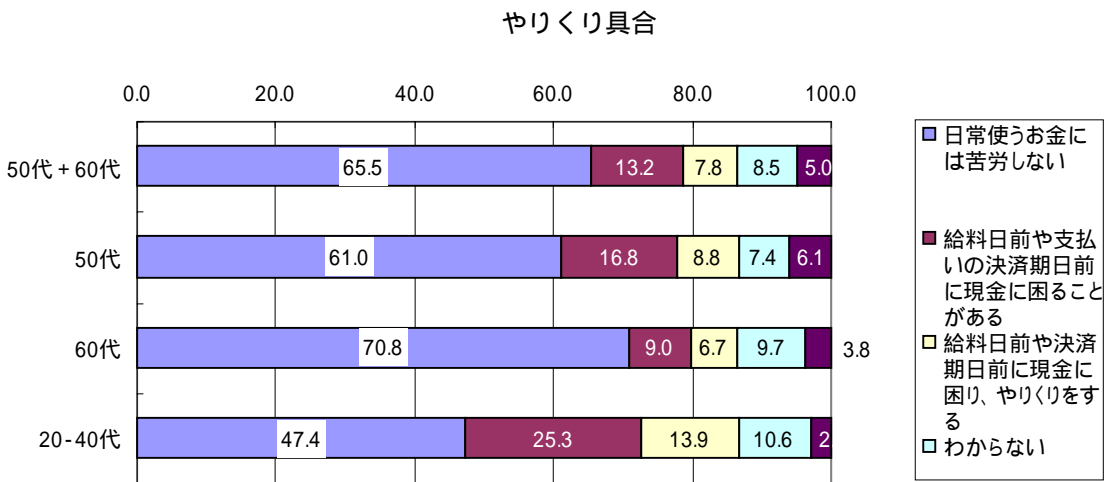
調査対象：12～69才男女 合計5000名（人口比で割りつけ）

有効回答数：上記対象者の中から、50代876名 60代743名 計1619名

調査方法：郵送調査

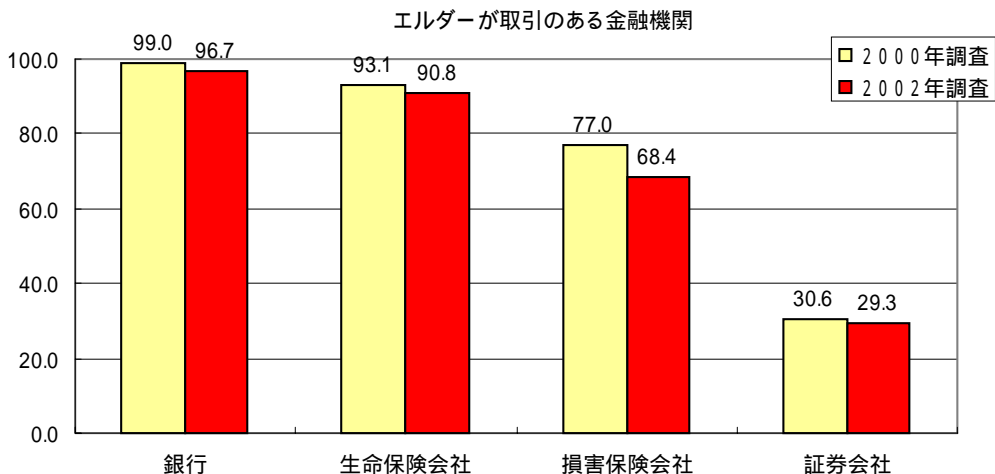
調査データ

3分の2以上のエルダーは、「お金に苦労しない」。60代は7割以上。エルダー層の3分の2以上にあたる65.5%は「日常使うお金には苦労しない」と答えています。20-40代で「苦労しない」のは47.4%と半数以下であることと比べると、エルダー層の金銭的なゆとり度は明らかに高いようです。とくに、60代は70%以上(70.8%)が「お金に苦労しない」で生活をしており、50代(61.0%)と比べて10%近くスコアが高く、60代の「金銭的ゆとり」が顕著です。



実際に取引のある金融機関

取引のある金融機関を聞いたところ、2002年は、銀行：96.7%、生命保険会社：90.8%、損害保険会社：38.4%、証券会社：29.4%でした。2年前と比較すると、全体的に微減の傾向にあります。

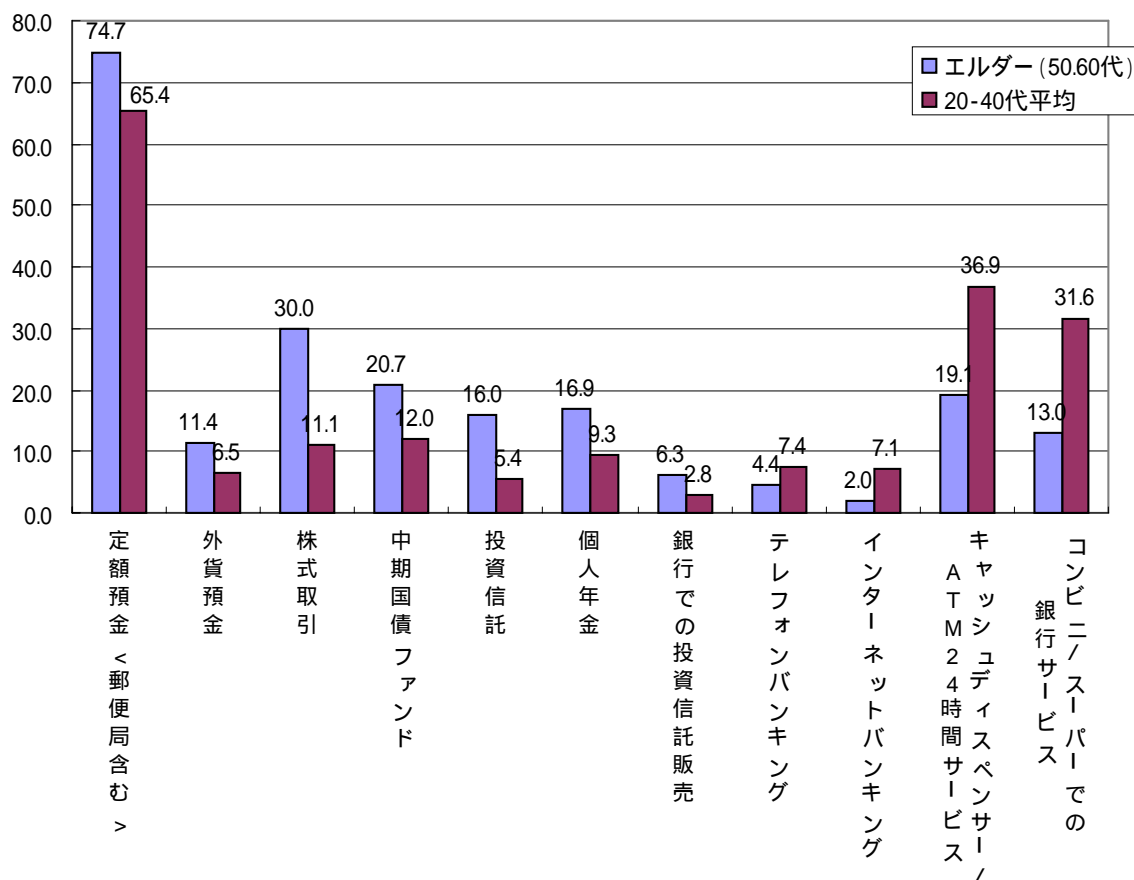


金融商品の利用経験が豊富なエルダー。新しいサービスにも積極的です。

具体的な金融商品やサービスの「利用経験」を見ると、エルダーの4分の3近くの74.7%が「定額預金（貯金）」の利用経験があったのを筆頭に、「株式取引：30.0%」「中期国債ファンド：20.7%」など、代表的な金融商品の利用経験は若い層よりも高く、金融に関する経験が豊富なエルダーの姿が明らかになりました。

一方、この数年で広がった新しいサービスに関しては、若年層の利用経験が高いものの、「銀行での投資信託販売」は、エルダー層のほうが利用経験が高くなっています。「コンビニ・スーパーでの銀行サービス」「キャッシュディスプレイ/ATMの24時間サービス」も、利用経験率は若年層より低いものの、昨年と比べてそれぞれ1.7倍、1.4倍に伸びており、追従する動きを見せています。

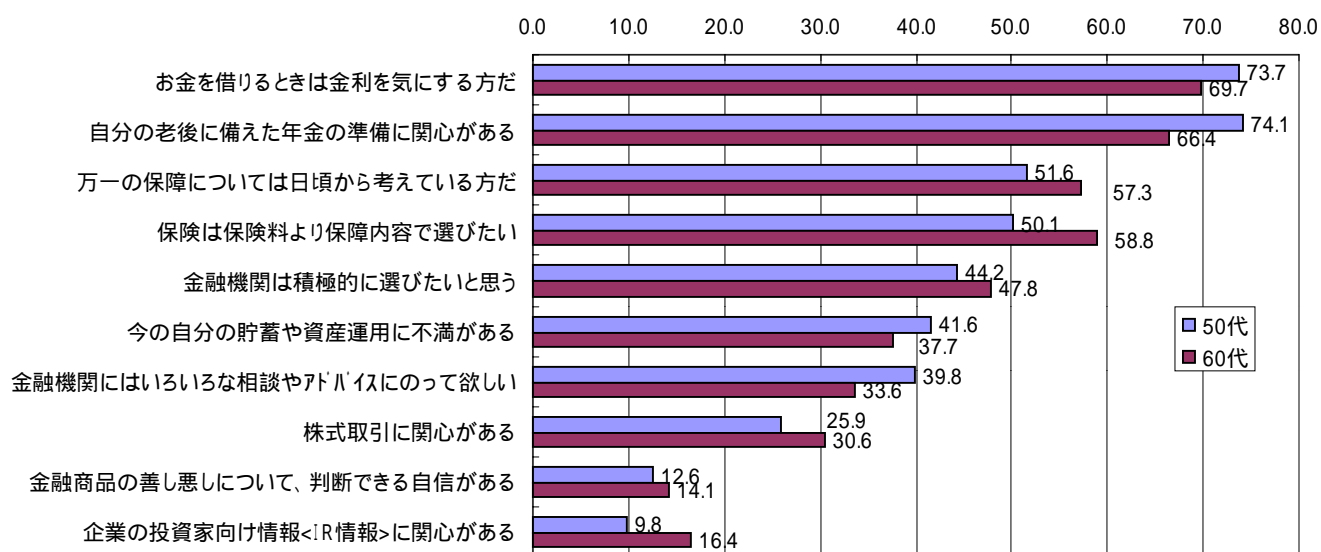
金融商品、サービスの利用経験



「今の自分の貯蓄や資産運用に不満がある」人は4割近くもいます。

金利や年金、保障についての意識は全般的に高いものの、「今の自分の貯蓄や資産運用に不満がある」人は4割近く（50代：41.6% 60代：37.7%）もいました。一方で、「金融商品の善し悪しについて判断できる自信がある」人は、15%以下（50代：12.6% 60代：14.1%）で、お金のことを気にしつつも、なかなか十分な知識を活用してはいない様子がうかがえます。また、「金融機関は積極的に選びたい」「株式取引に関心がある」「IR情報に関心がある」などの積極的な意見はいずれも60代のほうがスコアが高く、ここでも60代の金融意識の高さが浮き彫りになっています。

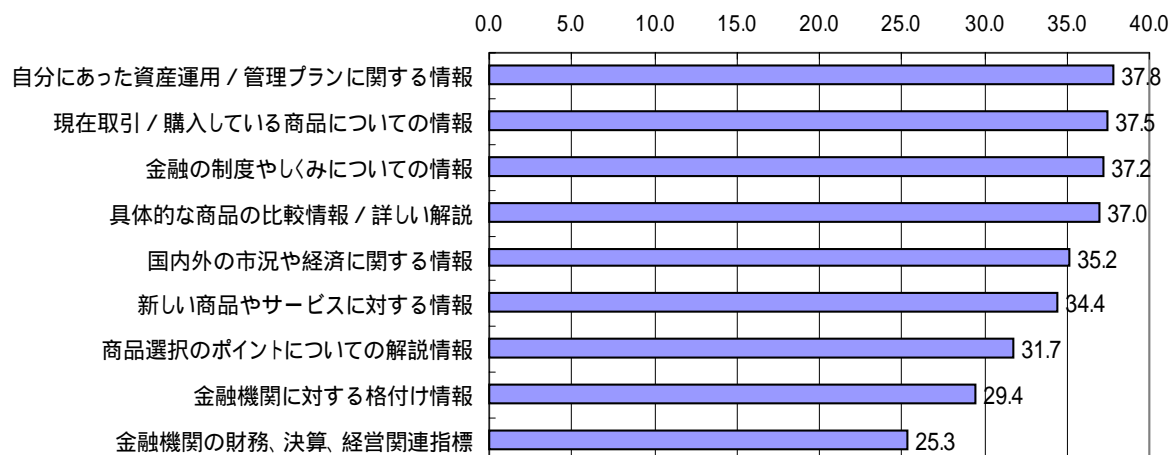
金融に関する意識(%)



金融機関から提供して欲しいのは、自分の資産状況に関する情報

これからの保障や金融生活に関心がありながらもまだまだ満足していないエルダーですが、「金融機関からの情報提供を期待している人」はエルダー全体の4割近く（37.6%）いました。これらの人達が期待している情報は、「自分にあった資産運用/管理プランに関する情報：37.8%」「現在取引/購入している商品についての情報 37.5%」など、現在の自分の状況をきちんと把握する情報をもっと必要としているようです。

金融機関に期待する情報(エルダー計)



ご参考

エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

| | |
|---------------------|--------|
| 50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定 | |
| 導入期 | 50～64歳 |
| 本格期（高齢者） | 65歳以上 |
| 前期高齢者 | 65～74歳 |
| 後期高齢者 | 75歳以上 |

これまで発行したHOPEレポート

1. HOPEレポート ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPEレポート 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPEレポート 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPEレポート 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
・エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPEレポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPEレポート つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPEレポート 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPEレポート 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPEレポート 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPEレポート 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」（今回）

博報堂エルダービジネス推進室のホームページ

<http://www.h-hope.net/>

これまで発行したHOPEレポートを全てご覧いただけます。

* このレポートは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる下限です)